

## エイブル・アート SDGs セミナー

実施日時：11月14日（日）13:00～15:10

関西を中心に食をとおした課題解決に取り組む団体を招き、分野を超えた議論をすることで、これからの地域づくりを考えるヒントを探りました。

まず、認定 NPO 法人おてらおやつクラブの松島さんから「約 280 万人の子どもたちが貧困状態にある今の日本で、全国のひとり親家庭の支援団体とお寺をつなぎ、毎月 21,000 人の子どもたちに、おそなえものをおすそわけとして配ってきました。コロナ禍になり、インターネットを通じ『助けて』の声が直接届くようになり、月に約 3,000 世帯へ米、野菜とおやつを事務局より直送する支援の仕組みに変えました。さらに『助けて』と『助けてほしい』をつなぐプラットフォームになりたい。」と語られました。

次に、NPO 法人インクルひろばの松岡さんより「当団体は、神戸市のベッタウンの一階にあります。ここに住んでいる一人暮らしの人が、誰かと一緒にご飯が食べられたらいいねとカフェを始めたのがきっかけでした。その後、子ども食堂を実施しました。コロナ禍で弁当を宅配することが主になっていますが、高齢者や子ども、障がいのある人など多様な人たちが集い、地域に魅力を取り戻す活動に取り組んでいます。」と紹介いただきました。

つづいて、11月6日に実施したオンラインイベントについて、当日の様子を映像で振り返りながら報告しました。

最後のディスカッションでは、他団体の報告を聞いた感想や持続的な活動のために意識していることなどを話し合いました。

登壇者：松島 靖朗（認定 NPO 法人おてらおやつクラブ 代表理事）

松岡 喜久子（NPO 法人インクルひろば 代表理事）

中川 悠（NPO 法人チュラキューブ 代表／杉本町みんな食堂）

安本 洋子、筒井 百合子（TIFA カフェ・サパナ）

